2026年 災害危機管理研修のご案内

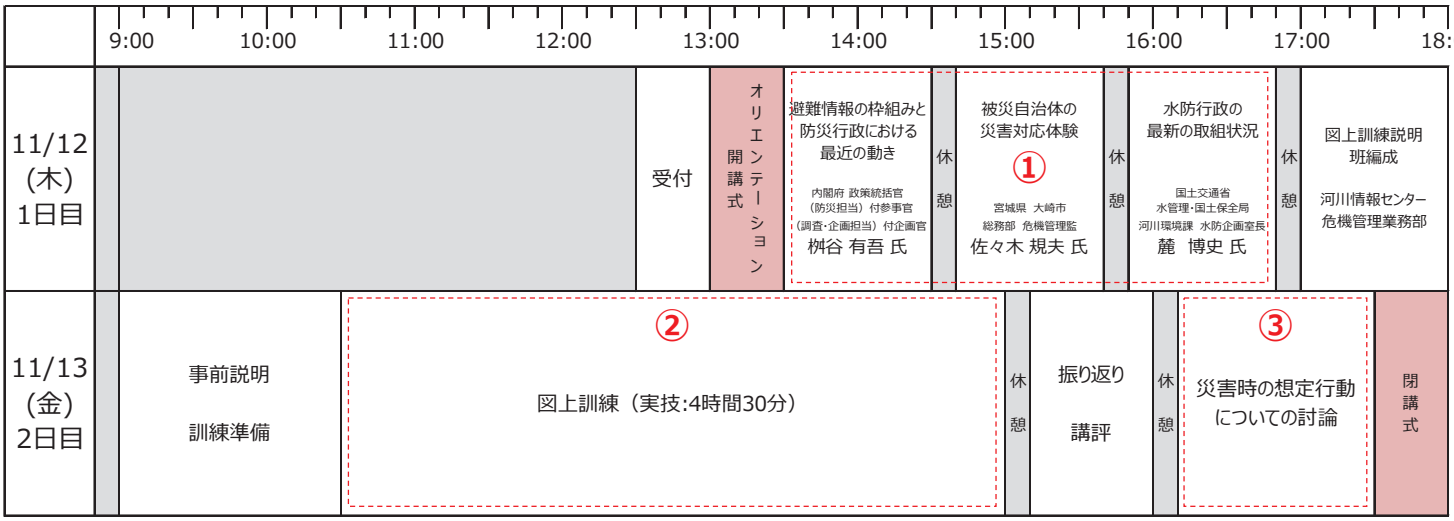
2日間の集中講座

明日、起こるかも知れない大災害…

その時、あなたは適切な行動がとれますか？
河川氾濫を想定した情報の収集・判断・対処行動等、実践的な訓練を行います！

研修風景

対象	地方公共団体や国の防災担当等職員
開催期間	2026年11月12日（木）13日（金）の2日間
研修場所	一般財団法人河川情報センター （東京都千代田区麹町1-3 ニッセイ半蔵門ビル）
募集人数	30名程度　※先着順ですが、1機関あたりの参加者数を絞らせていただく場合があります。
研修参加費	20,000円　※交通費、宿泊費、食費は含みません。宿泊先は各自でご手配ください。 ※研修参加費の納入方法等につきましては、受講申込後にご連絡します。
申込み	河川情報センターHP（以下URL）からお願いします。 https://www.river.or.jp/koeki/kensyu/kiki2026/001.html
研修日程	◇2日間で、**①防災や災害対応についての講義、②ロールプレイング方式の図上訓練、③図上訓練結果を踏まえた討論**を行います。 ◇1日目は午後からスタート、2日目は18時頃解散の予定です。



FRICS 一般財団法人 河川情報センター

【お問合せ】危機管理業務部　担当：青木（お問合せのみ）
住所：〒102-8474　東京都千代田区麹町1丁目3番地（ニッセイ半蔵門ビル）
E-mail：kiki-kenshu@river.or.jp　TEL：03-3239-8447

研修内容

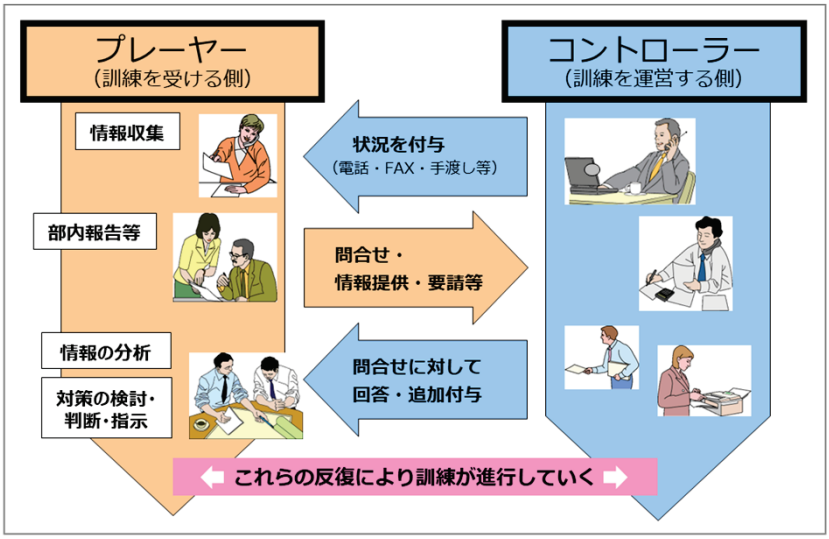
■ 防災や災害対応についての講義

講義内容（予定）	講　師
避難情報の枠組みと防災行政における最近の動き	内閣府 政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）付企画官（調査・企画担当） 桝谷 有吾 氏
被災自治体の災害対応体験	宮城県　大崎市　総務部　危機管理監 佐々木 規夫 氏
水防行政の最新の取組状況	国土交通省　水管理・国土保全局 河川環境課　水防企画室長　　麓　博史 氏

■ ロールプレイング方式の図上訓練

◇ ロールプレイング方式による災害危機管理訓練を実際に体験します。

◇ 想定シナリオは、洪水による被害が予想される自治体の災害対策本部の要員として、情報を収集・分析し、被害を予測し、住民に避難を呼びかける等の対処を実施する場面を予定しています。



【想定場面】

① 河川の増水による被害の予測分析
② 河川管理者との情報共有
③ 水防活動の実施
④ 住民に対する避難指示等の検討・発令
⑤ 避難指示等の広報周知、避難所の開設・運営
⑥ 要配慮者対応
⑦ 広報活動（特にマスコミへの対応）等

【訓練の特徴】

① 実際の災害時に近い状況の中で、自分自身の判断が求められます。
② 平常時とは大きく異なる、災害時の判断基準や優先順位を実践的に体験します。
③ 押し寄せる情報から、「今、何をなすべきか」を判断し実行することが必要となります。
④ シナリオはダイナミックに変化し、判断を誤ると状況は悪い方向に展開します。

■ 図上訓練結果を踏まえた討論

図上訓練を振り返り、災害対策本部の要員としてどのように行動すべきだったのか、これまでの経験・知識なども踏まえ、全員で討論・発表を行い、レベルアップを図ります。

● 当研修は公益社団法人土木学会認定CPDプログラムの認定を予定しています。